



ボランティア連絡協議会 移動研修実施!



坂戸市・聖天宮

目次

表紙・P2 移動研修 深谷・旧渋沢邸と坂戸・聖天宮見学

講演会 だれもがとおる道だから 笑顔で歳をかさねましょう!

P3 講演会でダンス披露～さくらフォークダンス

災害ボランティアセンター運営訓練に参加

ボランティア活動 PR、イベント告知、レポート募集中!

P4 子育て世帯をサポート! NPO 法人稲四季の会

ボランティア活動保険 加入申込の受付開始



移動研修 深谷・旧渋沢邸と坂戸・聖天宮 見学

令和6年12月3日、ボランティア連絡協議会の移動研修では「近代日本経済の父」と称され、新1万円札の顔となった渋沢栄一が23歳まで過ごし、晩年にもたびたび帰省した深谷市の「中の家」を見学しました。

広い屋敷には大きな母屋と数棟の蔵や物置が建ち、母屋の2階には蚕室があって当時の養蚕農家の暮らしぶりを見ることが出来ます。アンドロイド・シアターでは、和服姿でくつろぐ80歳代の渋沢栄一アンドロイドがゆっくりと動きながら、生まれ育った村での暮らしや仲間たちとの思い出を語るのを聞きました。

深谷市内にはあちこちに渋沢栄一の看板があり、道の駅では名産の深谷ネギと渋沢栄一にまつわる様々なお土産が並び、地元を挙げて渋沢栄一で盛り上がっている様子でした。

午後には坂戸市の日本国内最大級の台湾道教のお宮、聖天宮を見学しました。「五千頭の龍が昇る聖天宮」の名の通り、おびただしい数の龍や極彩色の装飾の見事さに圧倒され、昼食後の眠気も覚めました。神のお告げにより当地が建設地に選ばれ、完成まで15年かかったという豪華絢爛な造りは悠久の宮殿を思わせ、しばし異国にいるような気分になりました。

当日はお天気にも恵まれ、参加者同士の親睦も深まり、充実した一日となりました。



旧渋沢邸「中ん家」



渋沢栄一アンドロイド



聖天宮内部



1号車



2号車

講演会 だれもがとおる道だから 笑顔で歳をかさねましょう！

2月14日、ボランティア連絡協議会主催の講演会が江戸崎中央公民館で開催されました。講師は元つくば市社会教育指導員の小倉洋子さん。介護保険や家庭教室にかかわる様々な役職に就き、長年地域福祉に貢献されてきました。

明るくユーモアに溢れたお人柄と経験豊かな講話は県内各地の講演会で大好評で、当講演会でも会場に笑い声がたえず、参加者の皆さんは楽しそうにお話に聞き入っていました。

「先生の元気の秘訣を聞いて、仲間を大切に楽しく過ごしていこうと、前向きな気持ちになりました。」「楽しくためになるお話を聞いて、元気が出ました。」と、皆さん笑顔で会場を後にされました。



議会講演会

講演会でダンス披露～さくらフォークダンス



2月14日、講演会の開会式でボランティア団体さくらフォークダンスがダンスを披露しました。平成31年からボランティア活動を始め、現在会員は11名。君賀コミュニティセンターで毎週練習を重ね、月に1、2回ほど高齢者施設を訪問してダンスを披露しています。レパートリーは多数あり、世界各地の音楽に合わせて、おそろいの可愛い衣装で踊ります。

当日の曲目は「マンマ マリア」と「長生きサンバ」。会場の皆さんは手拍子をしながら、軽快で華やかなフォークダンスを楽しんでいました。



災害ボランティアセンター運営訓練に参加

日本各地で大きな災害が発生している昨今、被災地域では各市町村の社会福祉協議会が「災害ボランティアセンター」を開設し、被災者・被災地支援を行っています。被災者の様々なニーズを聞き取り、支援のために集まったボランティアの力をスムーズに被災者の元に届ける役目を担います。

1月25日、稲敷市社会福祉協議会でも、市内での災害発生を想定した「災害ボランティアセンター設置運営訓練」を実施しました。今回が初めての開催で、市役所・社協職員の他に地区民生委員の会長・副会長と、ボランティア連絡協議会からは役員6名が参加しました。

午前中は県社協職員の説明、水戸気象台の防災官と防災活動アドバイザーの講話を聴きました。午後には参加者全員が被災者、ボランティア、運営係（受付・ニーズ・マッチング・資機材）の役割になって模擬訓練をしました。

参加したボラ連役員からは、「災害ボランティアについての講話はわかりやすくて良かった。訓練は初めてなので戸惑ったが、実際に災害が起これば、もっと大勢の被災者やボランティアが殺到し、それにスムーズに対応しなければならないので、日ごろの準備と訓練は大切だと思った。また、災害ボランティアは泥かきや家財道具の移動など力仕事ばかりだと思っていたが、地元の道案内や受付誘導、炊き出しなど、女性や高齢者でも手伝えることがたくさんあるとわかった。」といった声が聞かれ、とても有意義な経験となったようです。



募集中!

ボランティア活動 PR、イベント告知、レポート etc.

ボランティア団体の皆さんの活動 PR、イベントの告知や実施中の写真・レポートなどをボランティアセンターまでお寄せください。「ボランティア通信」に掲載させていただきます。（発行時期、紙面スペースによっては掲載できない場合もあります。）

お問合せ 稲敷市ボランティアセンター ☎ 029-892-5711



新団体

子育て世帯をサポート！ NPO 法人稲四季の会



おいしい! たのしい
子ども食堂
弁当&パントリー

ひとり親家庭等
今ちょっとしんどい子育て世帯
対象です

LINE
申込、問合せはこちら
※完全予約制

2025
2/14・4/11・5/9
第二(金)17時から18時
場所：江戸崎笑遊館

また、料理教室&パントリー
3/8(土)江戸崎中央公民館調理室 11時から

いなすけ広場
主催 NPO稲四季の会
協賛 江戸崎ライオンズクラブ
江戸崎街づくり共同組合
稲敷市商工会女性部

いなすけ広場は登録制です。
登録、問い合わせはQRコードから！

皆様のご支援をお待ちしています！
お気軽にお問い合わせください。

フードドライブ 実施しています

フードドライブとは、家庭で余っている食品を持ち寄り、それらを必要としている方や団体に寄付する活動のことです。

受付できる食品

- ・常温保存が可能なもの
- ・未開封のもの
- ・賞味期限が1か月以上あるもの
- ・成分またはアレルギー表示のあるもの
- ・日本語表記があるもの

受付できない食品

- ・冷凍、冷蔵食品、生鮮食品
- ・開封されているもの
- ・賞味期限が明記されていないもの
- ・アルコール類（みりん・料理酒は省く）
- ・手作り品

ご提供いただいた食品とあたたかいお気持ちは、シングル子育て世帯・多子世帯・子育て中家庭の何かしらの事情がある世帯にお渡ししています。

受付場所
江戸崎笑遊館 10時～15時 月曜休み

配布について
いなすけ広場♡フードパントリー

主催：NPO法人稲四季の会

問い合わせ

令和7年度ボランティア活動保険加入申込の受付開始

ボランティア活動保険は、ボランティア活動中に「ケガをしてしまった」「ケガをさせてしまった」「活動中に物を壊してしまった」などの万一に備えるための保険です。

※現在加入いただいているボランティア保険は、3月31日までの保証期間となります。

○加入対象者

個人ボランティア又はボランティアグループ、NPO 法人など

※学校管理下、PTA 活動、自治会、老人会などのボランティア活動以外の目的で作られた団体は対象外となります。

○対象となるボランティア活動

☆日本国内における「自発的な意思により他人や社会に貢献する無償のボランティア活動」

☆グループの会則に則り企画、立案された活動であること

☆社会福祉協議会に届け出た活動であること ☆社会福祉協議会に委嘱された活動であること

○補償期間

令和7年4月1日～令和8年3月31日

※4月1日以降に加入申請した場合は、手続き完了日の翌日からの補償となります。

○保険の種類・補償内容

福祉の保険ホームページをご覧ください、下記までお問い合わせください。

○加入申込・お問合せ

稲敷市ボランティアセンターにて手続きを行っています。

〒300-0504 稲敷市江戸崎甲1992 ☎029-892-5711

